

平成26年度 指定管理者制度モニタリング結果報告書

1. 施設概要

施設名	津久井やまゆり園		
所在地	相模原市緑区千木良476		
サイトURL	http://www.kyoudoukai.jp/		
根拠条例	神奈川県立の障害者支援施設に関する条例		
設置目的(設置時期)	障害者総合支援法第5条11項に規定する障害者支援施設		
指定管理者名	社会福祉法人かながわ共同会		
指定期間	H27.4.1～H37.3.31	施設所管課	障害サービス課

2. 総合的な評価

総合評価	総合的な評価の理由と今後の対応
A	<p>&lt;管理運営等の状況&gt; 在宅で生活される障害児者に対する支援として併設型、空床型の短期入所枠を活用しての利用促進を図り、併せて日中一時支援事業の土曜日受け入れなど地域サービス事業を積極的に展開している。</p> <p>&lt;利用状況&gt; 施設入所支援、生活介護、短期入所の利用充実を図り、利用者数はそれぞれ増加した。</p> <p>&lt;利用者の満足度&gt; 利用者自治会において利用者満足度調査を実施。重度の知的障害のため、4段階評価による評価は困難であるが、その際に利用者から様々な意見が寄せられ、支援に活かしている。</p> <p>&lt;収支状況&gt; 収支のバランスは良好である。</p> <p>&lt;苦情・要望等&gt; 第三者委員による苦情解決事業を年12回実施するなど、利用者、家族から常に相談を受け付ける体制を整備した。26年度は19件の苦情、要望があったがその都度、適切な対応が図られている。</p> <p>&lt;事故・不祥事&gt; ひやりはつと報告書、事故報告書の集計と分析、危険箇所一斉点検等を実施するなど事故の未然防止に努めている。</p> <p>&lt;今後の方針等&gt; 26年度末で第1期の指定管理が満了、27年4月より第2期の指定管理が開始された。引き続き、在宅や民間での受け入れが困難な障害者の受け入れや地域生活移行への積極的な取り組み、加齢児受け入れ等、県立福祉施設としての役割を果たしてもらいたい。</p>
<p>S：極めて良好な管理運営状況 A：良好な管理運営状況 B：一部改善が必要な管理運営状況 C：抜本的な改善が必要</p>	

3. 月例・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
現場確認	実施日	特記すべき事項等があった場合はその内容
随時モニタリング指導・改善勧告等の有無	有・ <b>無</b>	指導・改善勧告等の内容

4. 管理運営等の状況

[ 指定管理業務 ]

事業計画の提案内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
多様な障害特性に合わせた特色ある施設運営を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設入所支援の利用充実（H25年度実績95.5%→H26年度実績96.8%）を図った。</li> <li>生活介護の利用充実（H25年度実績86.7%→H26年度実績91.4%）を図った。</li> <li>短期入所の利用充実（H25年度実績99.6%→H26年度実績101.7%）を図った。</li> </ul>	平成27年度からの第二期指定管理業務を念頭におきながら施設運営を行った。利用者の高齢化や新規入所者（19歳～20歳）のニーズに対応するための日中活動を提供した。
人権擁護に徹底して取組み、利用者一人ひとりの尊厳と自己実現の視点に立った事業の推進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎月一回虐待防止委員会を開催した。日頃の支援を見直すための「支援の振り返りシート」に取り組んだ。</li> <li>非常勤職員研修にて、権利擁護について意見交換を3回実施した。</li> <li>利用者自治会「ピザの会」を中心に本人活動の充実を図った。</li> </ul>	具体的に内容を確認しながら取組んだ。平成27年度に持ち越した課題はあるが、日頃の支援の振り返りを行い意見交換を重ねることで、一定の成果を上げることができた。
クライシスマネジメント（危機管理）に関する知識の向上と対策の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業継続計画（BCP）を策定した。</li> <li>相模湖地区連合自主防災隊主催による防災訓練に参加した。</li> <li>地元柳馬場自治会と災害時における対応について協議した。</li> <li>健康食生活委員会を中心に集団感染に対する備えについて検討した。</li> </ul>	地元柳馬場自治会と災害時における対応について協議を重ね、相互の協力関係を深めた。また、インフルエンザ等の集団感染対策については、引続き感染拡大防止対策を講じる。
地域貢献への取組みとして、地域サービス事業を積極的に展開する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>障害者地域余暇活動支援事業ワクワクサークルを実施、年9回277名参加した。</li> <li>医療的ケア支援事業すこやかサービスを実施、年21回324名参加した。</li> <li>地域交流等支援事業地域コンサートを実施、年5回713名参加した。</li> <li>他に外部向け研修会を実施した。</li> </ul>	在宅の障害児者のニーズや近隣事業所職員の意向に 대응することができ、平成26年度の目標は十分に達成できた。今後は社会貢献活動を充実させ、従来の事業と合せて積極的に展開を図る。

[ 参考：自主事業 ]

事業計画の提案内容	実施状況等
相模原市障害者等日中短期入所事業実施要綱に基づき、平成18年10月より、日中一時支援事業を実施している。	在宅の障害児者の地域生活の充実を図り、一時的な預かりのニーズに応えるため、日中活動・食事等の生活支援、余暇支援及び送迎等を実施した。平成24年7月からは毎週土曜日を稼働日とし、サービス提供の拡大を図った。平成26年度は延べ244人の利用があった。

5. 利用状況

評価	≪評価の目安≫目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄には代わりに定員数等を記載してください。
A	

	〔参考〕直営/管理委託/指定管理※2	前々年度	前年度	平成26年度
利用者数※1	52,301	51,620	52,292	52,991
対前年度比			101.3%	101.3%
目標値	〔目標値設定根拠〕			
目標達成率				

〔 参考：最大利用可能人数 〕

	施設入所	生活介護	短期入所		合計
定員	150	160	10		320
年間利用可能日数	365	365	365		
最大人数※1	54,750	58,400	3,650	0	116,800
稼働率	%	%	%	%	%

※1 原則は人数だが、施設の状況等により変更は可能。単位を変更した場合はその理由

※2 現指定期間より前の状況について参考として記載。(既に指定管理者制度を導入していた場合は期間中の平均値)

6. 利用者の満足度

評価	≪評価の目安≫ 「満足」(上位二段階の評価)と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※重度の知的障害のため、4段階評価による満足度の評価は困難である。
—	

満足度調査の実施内容	協定等に定めた調査内容	実施結果と分析
	簡易調査、定期調査の実施	毎月開催の利用者自治会にて利用者満足度調査を実施。利用者からやりたいこと、園行事の内容等について意見の聞き取りを行った。

実施した調査の配付方法 \_\_\_\_\_ 回収数/配付数 \_\_\_\_\_ / \_\_\_\_\_ = \_\_\_\_\_

配付(サンプル)対象

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
総合満足度の回答数						
回答率						
前年度の回答数						
回答率の対前年度比						

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

7. 収支状況

評価	≪評価の目安≫ 収入合計／支出合計の比率が S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満
A	

[ 指定管理業務 ]

(単位：千円)

	[参考] 直営／管理委託 ／指定管理※	前々年度	前年度	平成26年度	備考
(1) 収入					
〔参考〕年度計画	1,231,858	1,341,194	1,236,479	1,256,182	その他収入は、「経常経費寄附金収入」、「雑収入」等
指定管理料	590,140	461,351	461,821	464,846	
利用料	635,564	754,608	776,653	819,995	
その他収入	31,758	16,811	168,266	17,436	
合計	1,257,462	1,232,770	1,406,740	1,302,277	
対前年度比		98.0%	114.1%	92.6%	
対計画比	102.1%	91.9%	113.8%	103.7%	
(2) 支出					
〔参考〕年度計画	1,200,230	1,315,394	1,155,895	1,203,726	
支出額	1,200,224	1,123,275	1,577,188	1,252,083	
(内 納付金)	0	0	0	0	
対前年度比		93.6%	140.4%	79.4%	
対計画比	100.0%	85.4%	136.4%	104.0%	
(3) 収支					
〔参考〕年度計画	31,628	25,800	80,584	52,456	
収支差額	57,238	109,495	-170,448	50,194	
対前年度比		191.3%	-	-	
収入合計／支出合計の比率	104.8%	109.7%	89.2%	104.0%	

※ 現指定期間より前の状況について参考として記載。(既に指定管理者制度を導入していた場合は期間中の平均値)

※  の欄は記入不要。

[ 参考：県が支出した修繕工事費 ]

※県が支出する計画修繕工事・各所営繕工事等に係る修繕費

時期(年・月)	金額(千円)	工事箇所・内容(金額)
平成26年11月	1,501	居住棟廊下キックプレート等交換(1,501千円)
平成26年12月	1,451	渡り廊下鉄骨柱塗装(1,451千円)
平成27年1月	462	居住棟配膳室流し台交換(462千円)
平成27年3月	2,160	渡り廊下屋根雨漏り修繕(1,555千円)、非常用発電機修繕(605千円)

(基本協定において県が負担することとしている修繕費等： \_\_\_\_\_ 円以上)

[ 参考：資本的な収入及び支出等の状況 ]

	金額(千円)	内容(金額)
収入		
支出		
積立	20,000	備品等購入積立資産支出

## 8. 苦情・要望等

分野	報告件数		概要	対応状況
施設・設備		件		
		件		
職員対応	口頭	4 件	日頃からリハビリパンツを着用しているが、きちんと履けていなかった理由を説明するよう家族から要望があった。	今後十分配慮する旨を伝え謝罪した。
	電話	5 件		
事業内容		件		
		件		
その他	電話	1 件	利用者が窓を叩く音がうるさい。	近隣の方からの苦情だった。速やかに謝罪に伺った。当該セクションには支援の工夫を指示した。
		件		

※指定管理者に起因するものは必ず記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

## 9. 事故・不祥事等

発生日	事故等の概要	原因・問題点	①指定管理者の対応状況(再発防止策・業務改善策等)
			②県の対応状況(随時モニタリング・改善勧告の実施等)
4月17日	怪我【骨折】 入浴後、居室に移動する際にふらつき転倒した。	入浴後など、眠気やふらつきがあった際の支援が徹底できていなかった。	①指定管理者の対応状況(再発防止策・業務改善策等) ご本人の様子にあわせて安全に移動できるように、車椅子などの利用等、柔軟に対応している。
10月29日	怪我【骨折】 早朝、起きていた際「足をぶつけた」とご本人からの訴えがあった。	早朝の見守りが不十分だった。	①指定管理者の対応状況(再発防止策・業務改善策等) 見守りが不十分な時間帯でも、ご本人の様子を把握できるように工夫していく。また、上履きをはいているかどうかの確認を行う等、支援員へ周知した。

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事に関して改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。